



津田塾大学同窓会 120 周年

～写真でたどる発会から関東大震災後の復興支援まで～

1900～1901 年一番町校舎時代



1900 年 全国からの入学者
10名を迎えて女子英学塾開校

1901～1902 年元園町時代



英語教師育成、塾長及び教師は生徒達と同住すること等を主旨とした。～「女子英学塾規則」より引用

1905 年同窓会創立・初代会長大山捨松



女子英学塾顧問であった大山捨松（侯爵夫人）により女子英学塾同窓会創立。母塾の支援を主旨とする。

同窓会による五番町敷地取得支援。

購入の 6 割を同窓会が負担。

新築校舎の 2 階に同窓会室を置く。



開校時の協力者たち

(集合写真)左から 津田梅子、
アリス・M・バーコン、瓜生(旧姓・永井)繁子、
大山(旧姓・山川)捨松
(右顔写真)アナ・C・ハーツホン

1903～1923 年五番町時代



五番町寄宿舎



五番町校舎



1923 年関東大震災で校舎焼失後、同窓会による再建支援のための寄付、やがて小平へ

震災わずか 1 カ月後にアナ・ハーツホン単身帰米、
在サンフランシスコの安孫子余奈子（梅子妹）とともに
米国募金行脚し 50 万ドルの寄付金を集めた。

(1931 年小平校舎・寮竣工)



安孫子余奈子

(1880～1944)

梅子の 16 歳年下の妹。

女子英学塾で学び、

1909 年、安孫子久太郎氏と結婚のため渡米。



女子英学塾救済募金パンフレット&救済チャリティーコンサートプログラム・ポスト・ソ・ワシントン・ニューヨーク等にて



震災後の五番町校舎焼け跡で

写真：津田塾大学津田梅子資料室所蔵

口絵物語作成：津田塾大学同窓会広報部

～同窓会創立1905年はどんな年？～

第1・2回卒業生が親睦のために母校に集まったことが同窓会の発足起源となり、6月3日大山邸で女子英学塾同窓会発会式を開催。会長大山捨松、津田梅子、卒業生等60名が参加。この年の日本は旅順陥落・日本海海戦・満州軍司令部凱旋などに対し祝賀会等が開催されるという状況でした。同年、アリス・ペーコン講演「戦争に対する米国人の同情について」が行われました。

またこの年、日本の女子教育の状況は、専門学校以上の生徒41,870人のうち女子はわずか1,593人。米国公使グリスカム夫人講演「米国における女子教育進歩の状況」、アナ・ハーツホンの講演等が開催されました。

女子英学塾内の別科を事業として引き継いだのもこの年で、のちに女子英語会になりました。

9月には、女子英学塾に女子の学校としては初めて英語科教員無試験検定の資格が与えられました。これは1923年まで女子英学塾のみに認められていたことです。

10月に日本基督教女子青年会（YWCA）、11月に東京基督教女子青年会が設立され、津田梅子は東京YWCA初代会長に就任しました。



津田塾大学同窓会のあゆみ



1905年	「女子英学塾同窓会」創立 初代会長：大山捨松	1962年	理事長：古坂つき
1909年	母塾援助の別科を「女子英語会」と改称	1971年	理事長：久米愛
1911年	名誉会長：津田梅子が就任 五番町家政科教室2階に同窓会室を設置 (幹事が実務を行う形が1935年まで継続)	1973年	会長：中野静 千駄ヶ谷に同窓会館建設
1935年	理事長：大島良子 従来の評議員会を廃止し、6月理事会発足 (理事12名・顧問1名)	1974年	「津田塾同窓会」と「(財)津田塾会」に分離
1936年	理事長：永井末子 小平校舎3階に同窓会室を設置	1977年	会長：松下龍子
1937年	理事長：高橋静子	1981年	会長：高野フミ
1939年	理事長：元良北見	1985年	会長：小林季子
1940年	理事長：木内みる	1987年	会長：小林和子
1941年	理事長：手島コト	1988年	(財)津田塾会「津田ホール」建設 同ホール2階に同窓会本部、事務局等を移転
1942年	理事長：星野操	1993年	会長：杉田麗子
1943年	理事長：山崎文子	1996年	会長：田中節子
1946年	理事長：広瀬千代子 「津田英語会」発足、千駄ヶ谷校舎落成	2001年	会長：伊藤俊枝（2003年任期中に逝去）
1947年	「(財)津田塾同窓会」認可 法人事業として「津田英語会」 「津田スクール・オヴ・ビジネス」 「英文タイプライ科」等経営	2003年	久保内総子代行および顧問3名で後をつなぐ 「津田塾同窓会」を「津田塾大学同窓会」に 改称
1958年から1960年7月まで	理事長代行をおく	2004年	会長：江尻美穂子
1960年	理事長：藤田たき	2008年	「(財)津田塾会」解散
		2009年	会長：久保内総子
		2014年	「一般社団法人津田塾大学同窓会」設立
		2017年	千駄ヶ谷キャンパス2階に事務局等を移転
		2018年	会長：飯野正子
		2024年	会長：内海房子

参考資料：『津田塾大学100年史資料編』『津田塾大学—津田梅子と塾の90年』『津田塾大学同窓会史(2024)』

Tsuda Alumni Association



Since
1905

アナ・C・ハーツホン

(1860~1958)

津田梅子プリンマー大学留学時代の友人。

女子英学塾創立時から関東大震災後の再建・小平校舎まで財政資金面で尽力し、1902~1940年の約40年間、無給で教鞭をとる。

芸術にも造詣が深く、「津田塾たより」表紙絵である梅の花をはじめ多くの絵画を残した。

また、母校を讃える Alma Mater の作詞を手掛けた。



アリス・M・バーコン

(1858~1918)

大山捨松のホストファミリーの一員。

1888年、華族学校の教師として招聘された際、津田梅子と日本で同居し親交を深めた。

日米双方の女性について考察し、*Japanese Girls and Women* (訳:「明治日本の女たち」)を梅子の協力を得て出版した。

1899~1901年に女子英学塾創設期に尽力、無給で教鞭をとる。



1931年~

小平キャンパス

ハーツホン・ホール



1988~2016年

(財)津田塾会「津田ホール」



2017年~

千駄ヶ谷キャンパス

アリス・メイベル・バーコン記念館

人物写真：津田塾大学津田梅子資料室所蔵